

## 子育て Q&A

Q こどもの自己主張が強くなってきて、思い通りにならないと癩癩をおこしたりします。対応に迷っています。

A こどもの自己主張が強くなるのは、意思がはっきりしてきた成長の証です。こどもはまだ言葉を覚えている途中です。そのため、自分の気持ちや考えにぴったり合う言葉を知らなかったり、見つけられなかったりして、うまく表現できないことがあります。その結果、なんとか分かってもらおうとして「癩癩」という形になってしまうことがあります。

対応のポイントは2つです。①まず、時間の都合など応えられない要求には、できないことはできないこととして毅然と伝えましょう。しかし、毅然と対応しているだけでは、こどもの気持ちは渦巻いたままで、湧き上がる感情にどう対処すればいいか分からず、困ってしまいます。

②そこで、思い通りにならないことでの残念な気持ち、いつもと違うことでの戸惑いの気持ち等、こどもの気持ちを推察し、「もっと〇〇したかったね」「残念だったね」「怒ってるんだね」と、こどもの気持ちを代弁して寄り添ってあげてください。こどもが求める行動については応じてあげられなくても、気持ちについては寄り添ってあげることができます。気持ちに寄り添ってもらうことで、こどもは行動が叶わなくても落ち着いたり、「じゃあ、これでもいいか」と別の方法で納得したりします。また、「こんな世界があったらいいのにな」と想像することで、満足する姿を見せてくれることもあります。幼い頃に自分のさまざまな感情に十分に寄り添ってもらったこどもは、大人になった時に、自分の感情とうまく付き合えるようになります。

(回答：田中 玲子先生 教育学部附属特別支援臨床研究センター)

